

# 第一表 重要物資の国際比価 (31年6月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品目	単位	区分	日本		米 国	英 国	そ の 他	
			邦 貨 建	外 貨 建				
織 維	綿 糸(20 番手)	封度	M	¥ 210.0	¢ 58.3(+2.7)	¢66.0~67.0(0)	¢	¢香港45.0(-0.7) 伊58.4(0)
			E	190.8	53.0(-0.5)		¢	64.36(0)
	綿織物(2003)	碼	M	57.5	16.0(+0.2)	16.75(0)	¢	香港14.6(-0.7)
			E	56.5	15.7(-0.5)		¢	
	人絹糸(ビス120D)	封度	M	270.0	75.0(+9.7)	86.0(0)	¢	伊 82.4(0)
スフ糸(30 番手)	"	E	176.4	49.0(0)	76.2(0)	¢	63.0(0)	
鉄 鋼	鉄鉄(鋳物用2号)	屯	Q	28,500	\$ 79.2(+5.6)	\$ 59.3(0)	\$	\$ベル 67.0(0) フラ 59.5(0)
	棒 鋼(19 ミリ)	屯	Q	44,700	124.2(+8.4)	102.5(0)	\$	ベル 105.0(0) 西独 89.7(0)
			M	54,500	151.4(-1.4)		\$	
	厚 板(12 ミリ)	"	Q	45,720~48,440	127~129(0+2.0)	113.1(0)	\$	フラン 加盟国108.0(0) 実勢 価格110.1(-3.0)
薄 板(1.6 ミリ)	"	Q	50,700	140.8(+11.2)	99.6(0)	\$	西独 109.5(0)	
非 鉄 金 属	電 気 銅	封度	Q	186	¢51.8(0)~(-0.6)	¢ 46.0(0)	¢	¢ベルギー 35.1(-9.4)
	電 気 鉛	"	M	186	51.8(-1.1)	35.5(-1.7)	¢	34.6(-2.1)
	電 気 亜 鉛	"	Q	64	17.9(0)	15.8(0)	¢	14.1(+0.3)
	電 気 錫	"	Q	50~57	14.0~15.8(0)~(-1.6)	13.5(0)	¢	11.8(+0.3)
	アルミ地金	"	Q	368	102.1(0)	94.5(0)	¢	93.1(+2.8)
窯 業	セメント	屯	M	6,800	\$ 18.9(-0.5)		\$	西独 16.5~18.3(0) フラ 15.8(0)
			E	6,300~6,900	17.5~19.2(0)		\$	西独 13.5~14.5(0)
化 学 製 品	硫 苛性ソーダ(固型)	屯	E	21,762	60.45(0)	51.0(0)	\$	西独 50.0(0) イタ 52.0(0) カナ 53.0(0)
	レーヨンパルプ	"	M	42,000	116.7(0)	85.0(0)	\$	独(-1.0) リア 76.0(0)
	レーヨンパルプ	"	Q	78,814~79,916	218.9~222.0(0)	CIF 209.0(0)	"	カナダ CIF 200.0(0)
動 植 物 製 品	大豆原油	ドラム	M	29,000	80.6(+2.8)	54.3(-7.0)	¢	¢29.6(+5.0)
	生ゴム(RSS3号)	封度	M	103	¢ 28.6(+3.9)	¢ 32.0(+6.0)	¢	¢シンガポール 27.6(+4.4)
	原皮(牛)	"	M	79	21.9(+0.6)	15.5~16.5(0)		
燃 料	石炭(粘結炭)	屯	M	6,750	\$ 18.8(0)	\$ FOB 12.3~12.50(0) C&F 29.80(+0.8)		

備 考

- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
- 織 維
  - 海外価格はロイター電等による。
  - 香港綿布は2003番相当のもの。
  - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(我国での150Dの生産取引は僅少)
  - 英国スフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。
- 鉄 鋼
  - 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄7月積建値、鋼材では八幡製鉄8.9月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,000円、鋼材1,300円を夫々差引いて算出。
  - 海外の鉄鉄は  
ベルギー 鋳物用高磷鉄 ミュッソ (基準地) 渡し  
フランス " ロンダイ ( " ) 渡し  
英 国 ベーシック鉄
  - 英国は公示価格よりわが国同様運賃を差引いて算出。
  - 米国は U.S スチール社発表値。棒鋼輸出価格小口120.7ドル
  - 西独は公示価格から取引税4%を差引いた。
  - 厚板は米国、英国9~38ミリ、フラン加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。
- 非 鉄 金 属
  - 非鉄の英国価格はアルミを除きロンドン取引所現物相場。
  - アルミの国内建値は精錬業者販売価格。
  - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向特価。
  - 電気鉛、亜鉛のメキシコ価格、錫のシンガポール価格はいずれも市中相場。
- セメント
  - フランスは包装代を含まない。
- 化 学 製 品
  - 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
  - レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。  
海外価格は4~6月期CIF日本価格。
- 動 植 物 製 品
  - 生ゴムの英相場はRSS1号。
  - 米国原皮鉸柄バックスライト紐現物相場、国内相場は取引率が枚数のため概算。
- 燃 料
  - 内外とも約 8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向30年度直炭炭価。

## 第二表

## 海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第一表に進ず。卸売物価指数欄は昭和25年6月基準指数の比較。

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年6月	30年9月	30年12月	31年3月	31年5月	31年6月	
綿糸	M	米 国	105.3	90.5	84.7	83.9	76.2	83.0	83.0	87.0	
綿織物	M	"	102.5	86.2	83.6	84.8	87.0	91.0	~84.2	~88.3	
人絹糸	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	64.1	65.5	77.5	83.3	79.2	91.0	
スフ	M	英 国	74.2	57.5	55.9	59.7	65.7	61.7	68.6	69.8	
棒厚板	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	102.0	108.6	108.6	110.3	110.3	118.3	
電気銅	Q	西 独	107.1	91.2	101.3	108.3	108.3	118.4	118.4	128.6	
硫酸	E	西 独	126.2	118.4	118.2	115.1	119.6	118.5	118.5	120.9	
苛性ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	134.1	146.2	155.4	153.6	153.6	
レーヨンパルプ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	115.4	109.5	109.5	109.5	
大豆原油	M	米 国	121.0	182.9	175.0	185.3	164.4	129.2	126.9	148.4	
生ゴム	M	シンガポール	115.1	115.0	113.7	110.9	100.0	103.4	106.5	103.6	
原皮	M	米 国	172.3	149.4	162.8	138.9	136.3	121.7	129.1	132.7	
卸売物価指数	}	米 国	141.0	136.0	133.7	133.4	134.2	134.6	135.1	137.4	~141.3
		西 独	130.8	126.1	121.3	122.5	121.7	122.8	124.9	—	—

## 解 説

6月中の海外主要商品相場は、生ゴム、羊毛、綿花など一部に騰貴したものもあつたが、鉄鋼配合の一方銅、くず鉄、小麦、大豆油などは軟化し、また頃来上昇一途の海上運賃市況も下押すなど総じて一服商状を呈した。

かゝる海外の動きに対して、わが国でも全般的には落ち着き模様をみせ、卸売物価も月中0.1%の微騰に止まつた。しかし、鉄鋼は建値改訂(5.5%騰貴)があり、繊維も人絹糸が29年2月来の暴騰を演じたほか、電気銅も軟化したとはいえ、海外に比較し下げ巾が少なく、これら主要商品の国際比価関係はかえつて悪化の傾向をみせているのは注目を要する。

次に主要商品別に内外価格の動きを概観すると以下の通りである。

(1) 繊維 わが国市況は、人絹糸が頃来の現物品薄に思惑買いが加わつて人气的な異常高を示現したが、その他繊維は概して夏物最盛期を過ぎたため閑散商状を呈し、相場は微騰に止まつた。一方輸出価格は微落を示したため、人絹糸をはじめ全般に二重価格の巾は拡大した。

他方海外相場は、香港綿糸布が微落、その他も横這いと大勢弱保合に推移したため比価関係は総

じて割安の巾を縮小した。

(2) 鉄鋼 海外市況は、前月建値引上げをみたあとだけに、さすがに一服商状を示している。もつとも、基調は依然として強く、ベルギーでは先月の銑鉄価格の引上げに続いて鋼材値上げの声が起つており、ザール、英国でも石炭価格の値上りから近く鉄鋼価格再引上げのうわさが伝えられている。また7月早々に開始された米国ストはその後長期化の様相を濃くしているが、もし賃上げ妥結額が仮に1時間当たり20セント(昨年15セント引き上げて妥結)となれば、鉄鋼価格はトン当たり10ドル(約9%)見当引き上げられるものとみられ、いずれにしても強調要因をはらんでいる。なお米国スクラップ価格はストによる需要の減少予想から値下りをみせた。

一方わが国の市中価格は、建値引上げに伴う思惑材料の出尺しと、増産、緊急輸入などの安定策の発表から頃来の騰勢ようやく一服模様を呈したが、建値自体5カ月ぶりに8.4~11.2ドル(5.5%)方の大巾引上げが実施されたため、比価関係は割高の巾を一段と拡大した。

(3) 非鉄金属 海外市況は鉛、亜鉛、錫などは小浮動保合圏内を出なかつたが、電気銅は、生産好調の一方自動車の減産など実需が減退し、かたがた懸念された米国産銅会社の賃上げ交渉も波乱な

く解決したため下落。

これに対しわが国相場は、亜鉛が過剰生産傾向から建値、市中価格とも軟化し、割高の巾をわずかながら縮小したが、電気銅は海外安に追隨して下押ししたとはいえ、旺盛な内需に支えられて下げ巾は少なく、国際相場に対する割高の巾はかえつて拡大。その他鉛、錫、アルミは保合、比価関係にも格別の変化はみられなかつた。

(4) その他の商品 硫安、苛性ソーダ、レーヨンパルプなど化学製品は、引き続き内外価格とも大勢保合を示したが、ただ西独の硫安価格がオフ・

シーズンによる需要減から低落したため、硫安の対独比価は割高の巾をやゝ拡大した。一方、大豆原油も欧州の冷害が当初予想より軽いと弱材料がひびき、ニューヨーク相場が続落したのに対し、わが国相場は本年度外貨割当予算わくが比較的窮屈であることから逆に上昇、比価関係は悪化した。

セメントは海外の保合に対し、わが国は生産好調のため軟化、生ゴムも海外に比較し上げ巾が少く、いずれも比価関係はわずかながら好転したが、原皮は海外の保合に対してわが国は需要増加から微騰、割高巾を更に拡大した。

## 日 誌 (昭和31年6月)

### 国 内

- 1日 ○地方債及び事業債の元利金支払手数料引下げ実施
- 3日 ○金融制度調査会設置法成立  
○国際金融公社への加盟に伴う措置に関する法律成立
- 12日 ○金融機関資金審議会、大蔵大臣に対し中小企業金融の疏通に関する意見を申入れ  
○政府保証付社債を担保とする本行貸出の取扱決定  
○政府、昭和31年度新米価決定(玄米石当り農家平

### 海 外

- 4日 ○ザールの西独復帰に関する独仏間協定成立  
○マレー及びシンガポール政府、ゴムの対中共禁輸解除
- 5日 ○仏、モレ首相一般施政方針に関し信任獲得  
○ビルマ、ヌー首相辞任、スウエ新内閣成立
- 6日 ○インドネシア、ゴムの対中共禁輸解除  
○トルコ中央銀行、公定歩合を従来の4.5%から6.0%に引上
- 7日 ○第4回ガット関稅交渉会議による新關稅率發表  
○ルイジアナ州下院、日本綿製品排斥法案可決
- 8日 ○アイゼンハウアー大統領再び入院  
○朝鮮中立国休戰監視委員会中立地帯に撤退
- 11日 ○SEATO第3回軍事會議開催
- 13日 ○タイ、米、木材等の対中共禁輸解除
- 15日 ○中共全國人民代表大會開催、本年度予算案發表
- 16日 ○フリードマンIMF為替制限局長一行来日  
○シェーピエロフ、ソ連外相エジプト訪問
- 19日 ○米關稅委員會、別珍關稅公聽會開催

- 均手取價格 10,070 円)
- 12日 ○日英通商航海条約の交渉開始
- 15日 ○日独貿易取極妥結  
○政府、国際金融公社協定に調印
- 18日 ○政府、ビルマ向米綿委託加工に関する取極に調印
- 22日 ○国際復興開發銀行より国際復興開發銀行通貨代用国庫債券買入実施
- 26日 ○政府短期証券応募申込の受付時間を延長方実施
- 20日 ○全米ブラウス製造業者協会、日本製ブラウス輸入制限申請を撤回  
○第一次国際砂糖會議終了
- 21日 ○中共・カンボジア經濟援助(8億リエル)協定調印
- 22日 ○西ドイツ、エアハルト經濟相政府の景氣抑制策を發表
- 24日 ○SEATO本部設置
- 25日 ○米、リネン製タオル類輸入稅引下げ、7月25日より実施(10%から40%へ)
- 26日 ○英國國防支出等76百万ポンド削減を發表
- 27日 ○英連邦首相會議ロンドンで開催  
○仏、國民連帶基金制度國民議會通過
- 27日 ○パキスタン・ソ連通商協定調印(於カラチ)
- 28日 ○フリードマンIMF為替制限局長一行離日
- 29日 ○OEEC理事会EPUI6年延長を決定
- 30日 ○アイゼンハウアー大統領退院